



challenge!
働きたい
work



challenge!
もっと学びたい
study



あなたのチャレンジを応援します



challenge!
起業したい
establish



challenge!
社会貢献したい
contribute

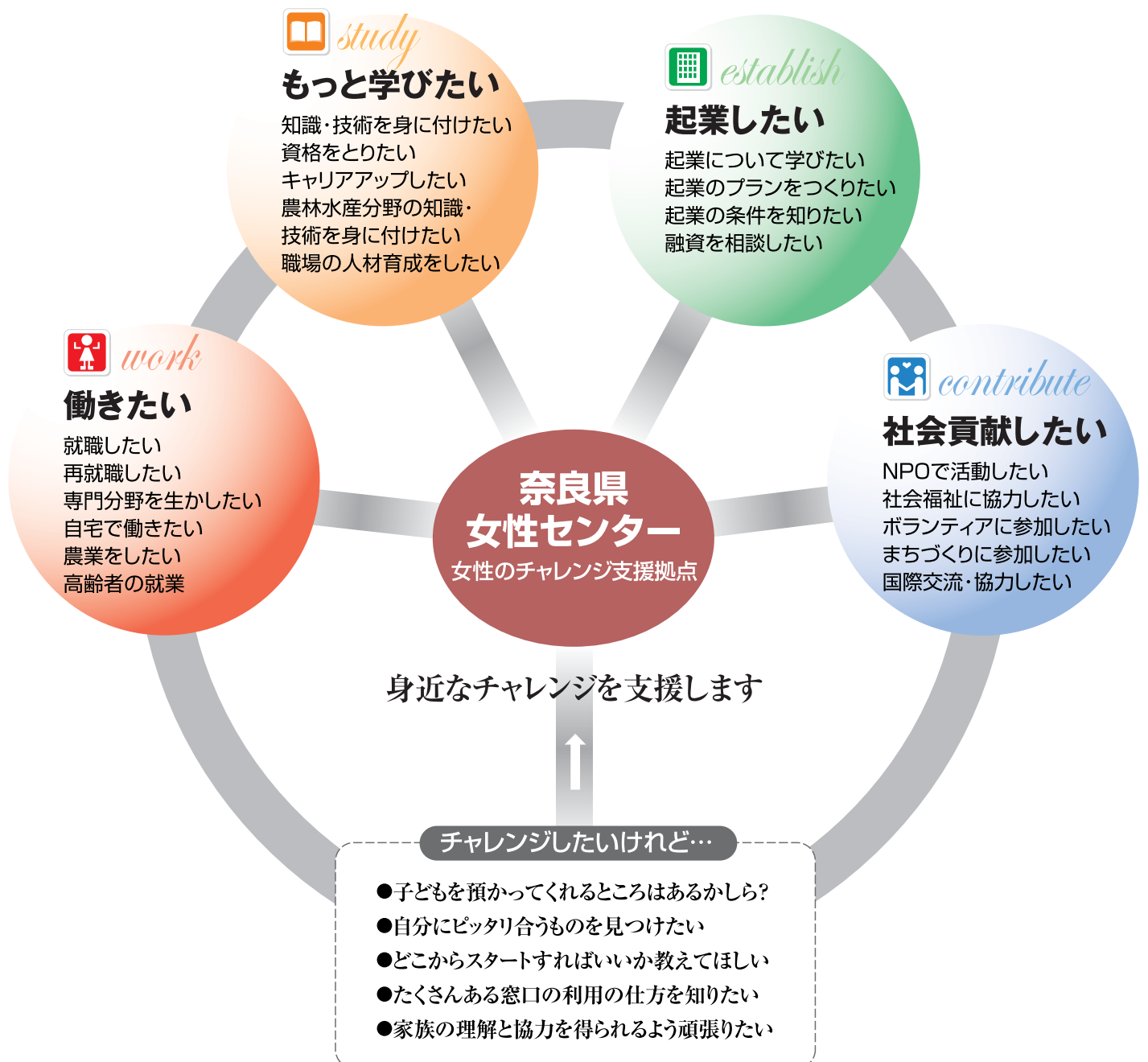


あなたもチャレンジしてみませんか？

奈良県女性センターでは「働きたい」「もっと学びたい」「起業したい」「社会貢献したい」という4つのテーマを柱に、女性のチャレンジを支援する事業を推進しています。

各種支援機関や活躍している個人・団体の事例などに関する情報を一元的に入手できる、女性の“やる気”を応援するwebサイト「チャレンジサイトなら」を開設しています。また、アドバイザーによる相談やチャレンジ支援関連講座の開催など、各種支援機関と連携しながら、女性のチャレンジを応援します！

Let's Challenge!!



※ご相談窓口はパンフレット裏面をご覧ください。

子どもたちの安全な暮らしを守りたい。



「Fair Cast～子ども安全連絡網～」を発案
働くママとして新システム開発
奈良市(株)NTTデータ関西 勤務
住田 典子さん

---「Fair Cast～子ども安全連絡網～」とは？

学校からの緊急連絡をインターネットを通じて電話(音声)やファックス、電子メールなどで保護者に対して一斉に通報するシステムです。社内で新規ビジネスのアイデア募集があり、母親の立場から子どもを守るために必要な仕組みではないかと考え応募しました。上司の協力も得ながら、事業性の見直しを重ね、奈良県内の公立小学校様で実証実験を開始した訳ですが、全国から大きな反響を頂き、平成18年度に実用化することになりました。

---システム開発のご苦労をお聞かせください。

身近なところで凶悪事件が発生し、子どもの安全を守るシステムが完成すれば多くの人に喜んでもらえると思うと“一度審査に落ちたくらいで負けてられへん!”と奮起しました。日本にはいろんな地域があり、それぞれに事情も違いますので全国を飛び回って調査研究を行ったことが大変でした。どうしても家を留守がちにしましたが、このシステムがテレビや新聞などで取り上げられると“すごいやん! ママはいい仕事してるねなあ!”と子どもたちから声をかけられ、頑張ってよかったと思えました。

---住田さんのチャレンジの秘訣は？

ようやく事業化のスタートラインに立ったばかりで、本当に大変なのはこれからだと思っています。取上げて申し上げるなら、目標を成し遂げた自分をイメージすることでしょうか? いくつか道が拓けると思い続けることが、頑張るパワーになります。また、子育てとの両立で職場でもいろんな人にお世話にな



っていると思いますが、“お世話になる時はなればいい。いつか必ずお世話をして返せる時があるから”という上司の言葉には救われましたね。人に恵まれていたと思います。

夢に近づぐには厳しさと責任が必要。



インテリアコーディネーターとして
健康な住宅づくりに取り組む
香芝市(株)創造工舎 勤務
篠田 三起子さん

---インテリアコーディネーターになったきっかけは？

子どもができたとき、何か仕事をしたのに働けないという思いがあって、ちょうど自宅の新築時期が重なったので、何かをしたいというエネルギーが、“家をこうしたい!”という方向に向いたんですね。そのときに、家をつくるためのアドバイザーや相談に乗ってくれる人がいればいいと思っていたら、インテリアコーディネーターという仕事が存在するのを知りました。そして、これなら子どもがいても一生の仕事にできるかもしれないと思い至ったんです。

---資格取得の勉強はどのように？

子どもを小脇に抱えて専門学校に通いました(笑)。学校の受付で子どもを預かってくれたり、周囲の理解や協力に支えられて勉強をしました。卒業後も、子どもがいるなら在宅の仕事がいいだろうと内職



の仕事を紹介してもらえたり、恵まれていましたね。2人目が産まれたときは、まだ5歳だった上の子が“赤ちゃんの面倒は私が見てあげるから”なんて言ってくれたりもしたんですよ。

---篠田さんのやりがいとは？

現在は主に住宅のリフォームのプランニングをしています。中でもシックハウスや子供のアレルギー問題などに考慮した健康な住宅づくりに力を入れています。また機能・デザインを重視したオリジナルの家具の設計にも現在夢中です。この仕事はお客様の立場で提案し、それが形になるのが醍醐味であり、何年やっても全く同じプランはありませんね。家庭や子供を持っていることに逃げ込まず、甘えず、厳しさと責任を持ってチャレンジを続けたいですね。自分の夢に近づくためには、この厳しさと責任がとても大切だと思います。また、何かを犠牲にするのではなく工夫をして道を拓くことも必要ですね。

？こんなとき、どうしたら？

Q
子育てと仕事、
両立していく自信が
ないなあ...

A
そんなときは女性センターへ。センターでは働く女性の相談や、活躍している女性たちの子育て体験が聞ける“チャレンジモデルセミナー”などを開催し、サポートします。

Q
しばらく仕事から
遠ざかっていたので、
ついていけるか
心配...

A
再就職セミナーに無料で参加できる
21世紀職業財団奈良事務所の“再
就職希望登録者支援事業”や女性
センターの“再就職チャレンジ講座”、
しごとセンターの相談・さまざまな
セミナーもあなたを応援します!



専門知識を持つ女性として 社会の不安に立ち向かう

生駒市 社会保険労務士
笠谷 亜紀子さん

---社会保険労務士の資格取得をされたきっかけは？

大学を卒業し、システムエンジニアの仕事に就いたのですが、残業も多く体調もかまえない状況に不安をおぼえました。長く働きたいと思っていたので、何か資格をとって自分自身でできる仕事に就きたいと考えたんです。

社会保険労務士を選んだのは、年金・雇用など社会の不安要素の専門家となることで、社会の一員としてやりがいをもてと思ったから。思いきって退職して勉強に専念し、1年で資格を取得しました。

---ご自宅が事務所なんですね。

実務経験を積むために事務所に所属していましたが、出産を機に退職し、子どもが保育園にあがった平成16年春に独立開業しました。現在は年金に関する仕事のほか、再就職セミナーなどさまざまな女性に対する支援を行っています。

私自身が子どものことなどでなかなか仕事を再開できなかった経験が活かしていると思います。去年は相談業務に役立つと思い、キャリアコンサルタントの資格をとりその手法や考え方が大いに役立っています。

---笠谷さんにとって学ぶとは？

自分の知識や情報が誰かの役に立てる、ということが喜びです。だから、複雑な年金制度などを常に勉強し続けることは、身近な相談に対してその人に必要なことをわかりやすく伝えるために必要です。資格はあくまで仕事のツールの

ひとつです。資格があるからこの仕事…ではなく、こんな仕事をしたいから勉強をする、資格を活かす。そんな姿勢でチャレンジしていきたいと思っています。



シクラメン栽培を手始めに 野遊びの世界を広げて事業化

宇陀市 農産物生産・販売
笹岡 美喜子さん

---農業に興味がおありだったのですか？

何か仕事をしたいと思っていたときに農業試験場の先生とたまたま出会ったことがきっかけで、まったくの農業初心者でした。はじめは庭で10坪ほどを使ってシクラメンを栽培していたのですが、なぜか田んぼを2反つぶしてビニールハウスを建てることに(笑)。手伝ってくださる方も増え、ハウスいっぱいシクラメンが育ちました。今年で16年目になりますが、シクラメン以外にもニチニチソウ、パンジーなどさまざまな品種を育て、ニチニチソウの品種改良では花博で特別賞もいただきました。リースやクラフト、寄せ植え教室なども行っています。

---ブルーベリー園もなさっているとか。

シクラメン栽培の勉強をしたときに隣にブルーベリーの木があり、興味を湧いたのでさっそく育ててみました。現在はシクラメン栽培は息子に任せ、私はもっぱらブルーベリー栽培



です。最初は自分で食べるためだったのですが、奈良で一番古いブルーベリー園として、摘み取り体験もしていただいています。平成16年から実の加工にとりかかり、翌17年の秋によくジャムも商品化

しました。見るだけよりも食べる方が楽しいですからね。これから販路を広げていこうと頑張っています。

---笹岡さんのモットーは？

失敗を恐れずに思いきって挑戦することですね。ただし、失敗しても生活などに影響がない範囲におさめることが大切です。何かをしたいと思っても、頭の中であれこれと考えて躊躇していたのでは、結局一歩も踏み出すことができません。どんなことでも楽しもうという気持ちが行動につながると思いますよ。

Q 子育て中だけど、勉強もしたい!

A 知識・技術を身に付けたい、資格をとりたいと思ったら"チャレンジサイトなら"にアクセスしてみてください。また、放送大学ではワーク(仕事や社会活動)とライフ(生活)のバランスをとりながら学べます。

Q 事業を始めたけれど、私にできるかなあ...

A 起業した女性の体験談を聞く、女性センターの"チャレンジモデルセミナー"であなたの夢を具体化。中小企業支援センターでは、事業化に必要な基本的知識の習得ができますよ。

お母さんたちを社会とつなごう。



子育て支援ネットワークで
お母さんたちをサポート

奈良市 M's(エムズ) ネット主宰
北島 真理 さん

---M'sネットとはどんな活動をしているのですか？

子育て支援のネットワークづくりです。きっかけは奈良県女性センターの「セミナーを創ろう講座」を受講して、企画をするおもしろさを知ったこと。そこで知り合ったお母さんたちと“こんなものがあつたらいいね”と始めました。まずは、お母さんたちがゆっくりくつろげる空間をと「オンソレーユ」という喫茶スペースをつくりました。その第1号のお客さんが“私も何か役に立ちたい”とつくってくれたのが「ぷらんぷらん」という情報誌で、そのままスタッフとして参加してくれています。

---M'sネットの活動方針は？

家にもっているお母さんたちに社会とつながってもらうことを目的としています。また、自立という観点から、子育て中のお母さんでも働くことができるような新しいシステムづくりにも取り組んでいます。たとえばM'sネットとして仕事を請け負い、1人の募集に対して何人かでローテーションを組んで仕事をすれば、1人ひとりのお母さんの負担は軽減されますからね。働きたいけど保育所に子どもを預けてフルタイムというほどでもない、そんなお母さんにも働くチャンスが訪れます。

---北島さんの夢は？

私自身は夫の転勤で各地を転々とし、横のつながりがない生活をしてきましたから、こういった支援ネットワークのありがたさがよくわかります。この活動を次の世代に引き継ぐためにも、自立することは大切です。遊びではなく、お母さんたちが自立をするために、働いてお金をいただくということ



にこだわり、お金をいただくことへの責任を感じながら社会とつながっていきたいですね。

素晴らしい自然を子どもたちに伝えたい。



地域密着型の環境保護活動で
子どもたちの未来を考える

斑鳩町 いかるがの里・自然クラブ 代表
武田 悦美 さん

---現在の活動を始められたきっかけは？

地球環境に対しては以前から関心があったのですが、具体的な活動のきっかけは、子ども会の役員になった時のことです。斑鳩町はゴミの分別収集の取り組みも早かったのですが、地域の皆さんにゴミの分別の意味を理解していただき協力していただくには、新聞紙やアルミ缶などがどのように作られ、どうリサイクルされるかを正しく知っていただくが必要だと考え、毎月1回の廃品回収日にチラシを作って情報を発信し始めました。その1年後くらいにNPO法人ネットワーク「地球村」の環境に関する講演を聞く機会があり、入会したんです。



---いかるがの里・自然クラブの設立は？

その後もPTAの役員として環境新聞を発行したり、講演会の企画を行っていましたが、平成13年にネットワーク「地球村」の理念に賛同し、いかるが「地球村」を発足させて本格的な活動に取り組みました。紫外線の問題、オゾン層破壊の問題など、さまざまな環境問題についての学習会やイベントを行う中、親子で参加できる活動や、斑鳩の里山や竜田川の自然保全など地域密着型の活動を行って自立しようと、平成18年1月1日から「いかるがの里・自然クラブ」と名称を変更し活動を行っています。

---武田さんの今後の目標は？

子どもたちには自然の素晴らしさと守ることの大切さを伝えたいと同時に、災害などで文明が壊れても生き残れる力を身につけてもらいたいですね。また大人のみなさんには地球環境の現状を知らせ、グリーンコンシューマ(環境意識の高い人)を増やし子どもたちの未来を守っていきたくいですね。

Let's Challenge!!

Q 地域の役に立ちたいけど、どうすればいい？

A 「私に何ができるかな？」女性センターの「チャレンジ発見講座」であなたの力を引き出してみませんか！さらにNPO、福祉、まちづくり活動へ。「まほろば地域づくりネット」でも地域づくり関連事業の案内をしています。

Q 国際交流やボランティアに興味があるんだけど…

A それなら、ボランティアのホストファミリーに登録して国際交流というのはどうでしょう。詳しくは、(財)なら・シルクロード博記念国際交流財団まで。

女性のチャレンジ支援についての相談先

■奈良県女性センター

〒630-8216 奈良市東向南町6番地
TEL 0742-27-2300 FAX 0742-22-6729
開館時間／火～土曜日 9時30分～20時30分
日曜日・祝日 9時30分～17時
休館日／月曜日(祝日と重なったときはその翌日)

奈良県女性センターではインターネットのホームページ「チャレンジサイトなら」を開設し、みなさんのチャレンジを応援しています。チャレンジサイトならでは、奈良県女性センターのほか、下記機関の事業・講座・イベントなど各種情報を検索していただけます。

<http://www.pref.nara.jp/joseic/challenge/>

チャレンジサイトなら



女性のチャレンジ支援ネットワーク協議会

- 奈良公共職業安定所
- 奈良県新規就農相談センター
- 奈良しごとiセンター
- (財)21世紀職業財団奈良事務所
- 奈良県福祉人材センター
- (財)奈良県中小企業支援センター
- (財)なら・シルクロード博記念国際交流財団
- 奈良県総合ボランティアセンター
- 奈良県社会福祉協議会
- (財)健やか奈良支援財団

[発行] 平成18年(2006年)3月

奈良県生活環境部男女共同参画課
〒630-8501 奈良市登大路町30
TEL 0742-27-8729